

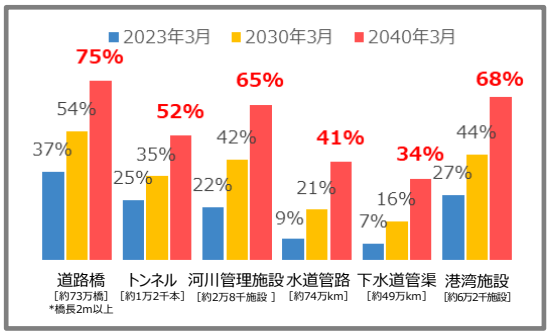
本日も議論いただきたい事項

地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)の推進

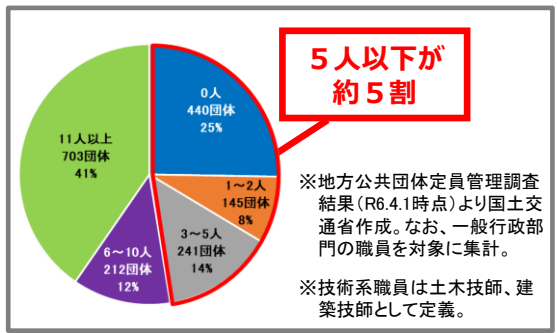
「群マネの手引き」公表の
記者発表資料(R7.10.14)

○ 技術系職員に限られる中でも、的確なインフラメンテナンスを確保するため、**複数自治体のインフラや複数分野のインフラを「群」として捉え**、効率的・効果的にマネジメントしていく「**地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)**」を推進。

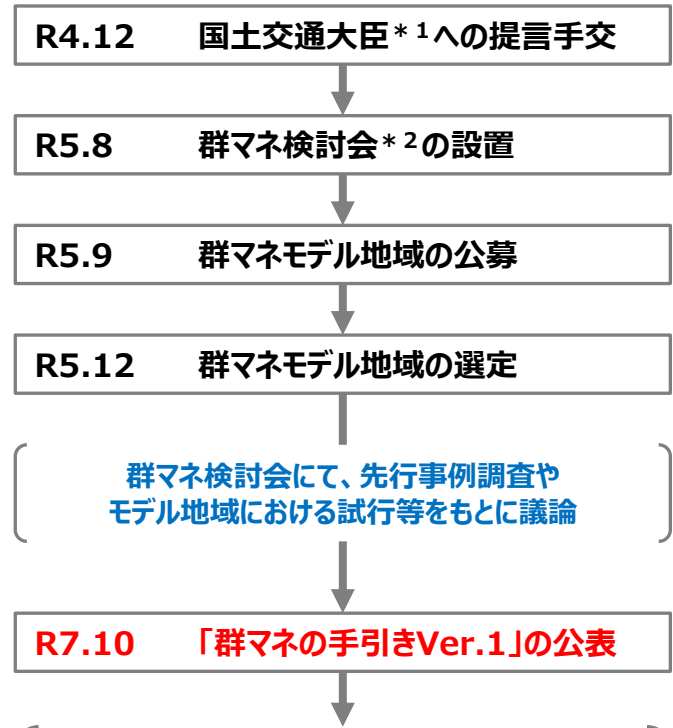
「インフラメンテナンスを巡る課題」
＜建設後50年以上経過する社会資本の割合＞



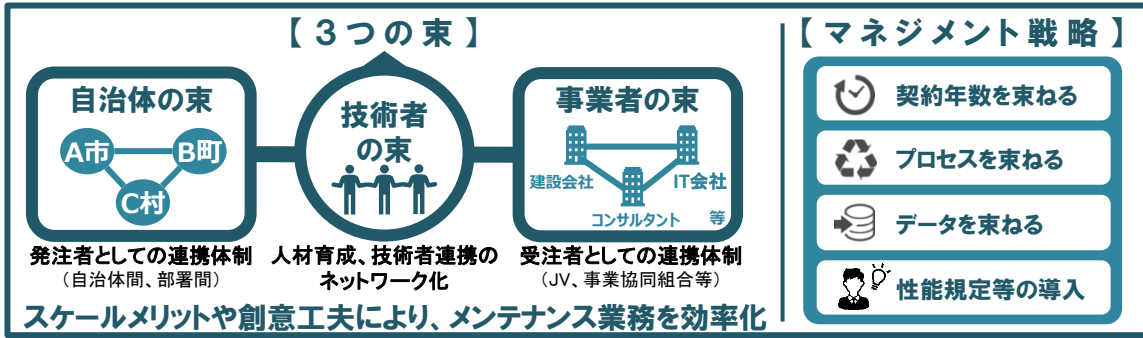
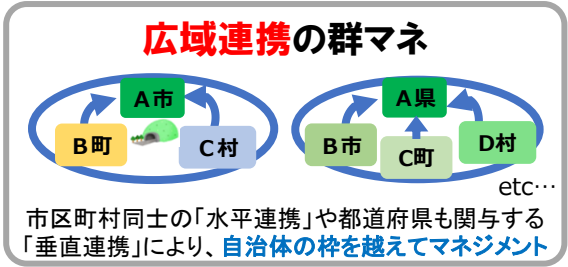
＜市区町村における技術系職員数＞



「施策検討と全国展開の流れ」



「地域インフラ群再生戦略マネジメント(群マネ)の概要」



- 「群マネの手引きVer.1」を用いた普及活動 (自治体説明会等)
 - 「群マネの手引きVer.2」の策定に向けて、既存事例が乏しいスキームを含めた更なる議論
- * 1 : 社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会『総力戦で取り組むべき次世代の「地域インフラ群再生戦略マネジメント」～インフラメンテナンス第2フェーズへ～』
- * 2 : 「地域インフラ群再生戦略マネジメント計画策定手法検討会」及び「地域インフラ群再生戦略マネジメント実施手法検討会」

○「群マネの手引きVer.1」では、群マネの概念や期待される効果を紹介した上で、群マネの類型や先行事例、実施プロセス、計画策定の考え方等を解説することで、導入検討から実践までサポート。



目次

1 インフラメンテナンスの「見える化」

- 全国の「見える化」
- 自治体毎の「見える化」

全国や自分のまちは
どういう状態？

2 群マネのコンセプト

- インフラメンテナンスの現場の苦悩
- 群マネの概念と目指す姿
- 先行事例における効果の声
- 「群マネ」と「東」

「群マネ」って
なに？

3 群マネのメニュー

- 群マネの類型
- 先行事例（広域連携、多分野連携、プロセスの東）
- キーワード解説

「群マネ」の
具体例はある？

4 群マネの実施プロセス

- 標準的なステップ
- 各ステップのQ&A
- 群マネを進める上での心得
- 先行事例におけるエピソード（苦労話など）

具体の一步を
どう踏み出せばよい？

5 群マネの計画策定

- 群マネの計画策定で検討すべき項目
- 自治体計画への位置づけ方法

「群マネ」を進めるため
に何を決める？

6 人の群マネ（技術者の東）

- 「人の群マネ」について
- 全国や各地域の取組例

「群マネ」の素地は
どのように作る？

「群マネの手引き」の普及活動

○ 手引き公表後、自治体や業界関係の各種勉強会等にて、群マネの手引きを解説。

No.	開催日	対象地域	主催者等	勉強会等名	主な対象者		
					自治体	事業者	その他
1	2025.10.16	オンライン	(公財)損害保険事業総合研究所	サステナビリティ講演会2025 「持続可能なインフラメンテナンスの実現に向けて」			損害保険業界
2	2025.10.31	関東	群馬県建設技術協会	群馬県建設技術協会 講演会	○	○	
3	2025.10.31	近畿	インフラメンテナンス国民会議	インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラムシンポジウム 「インフラメンテナンスにおける自立的な自治体支援を考える」	○	○	
4	2025.11.6	全国	全国建設技術センター等協議会	全国建設技術センター等協議会 全国会議			建設技術センター
5	2025.11.11	全国	(公財)溶接接合工学会振興会	セミナー 「省人化・低コスト化に対応したインフラマネジメントの方向性」	○	○	
6	2025.11.12	北陸	富山県	インフラメンテナンスに関する勉強会	○		
7	2025.11.13	オンライン	日立システムズ(協力:自治体通信)	セミナー 「AI活用で進化する！持続可能なインフラ維持管理の未来像」	○		
8	2025.11.17	北海道	インフラメンテナンス国民会議	インフラメンテナンス市区町村長会議 北海道フォーラムシンポジウム 「地方インフラのこれからを考える」	○	○	
9	2025.11.21	四国	インフラメンテナンス国民会議	インフラメンテナンス市区町村長会議 四国ブロック会議	○	○	
10	2025.11.24	全国	土木学会	第72回土木計画学研究発表会・秋大会(企画提案型) 「総力戦時代を迎えるインフラマネジメント」	○	○	学識者
11	2025.11.26	東北	秋田県大館市	インフラ群の包括的民間委託実践発表会 「暮らしを支えるインフラ堅持の取り組み」	○	○	学識者、短大生
12	2025.11.28	全国	国土交通省	国土技術研究会 「群マネ、知ってる？ 新たなヒーローは動いている」	○	○	
13	2025.12.2	オンライン	(一社)行政エンジニア支援機構 SORAE(そらゑ)	行政エンジニアに教えてよ「みんなが気になる群マネの手引きとは」	○	○	
14	2025.12.4	近畿	財務省近畿財務局	財政融資資金地方資金の借入等の手引きに関する説明会 (第1部 効率的な公共施設マネジメントに係る情報提供)	○		
15	2025.12.11	全国	インフラメンテナンス国民会議、 日本経済新聞社、日経BP	社会インフラテック2025 「常識に縛られるな！群マネは、自由だ！」	○	○	
16	2025.12.23	九州	インフラメンテナンス国民会議	インフラの包括的維持管理の実装に向けた自治体支援セミナー	○		
17	2025.12.24	九州	長崎県長崎市	長崎県内市町村群マネ勉強会	○		
18	2025.12.24	東北	インフラメンテナンス国民会議	インフラメンテナンス市区町村長会議 東北ブロック会議	○	○	

- 植野委員と群マネモデル地域が登壇したパネルディスカッション(社会インフラテック)

インフラ群の包括的民間委託 実践発表会

「暮らしを支えるインフラ堅持の取組み」
～人口が減少しても幸せを導くまで～」

◎基調講演(計4名実施検討会会長)
堀田 昌英 教授 (東京大学大学院)
～群マネロ都市「島おたて」の現状と課題、未来～

～2019年11月26日(水) 秋田県立総合文化センター～

◎堀田昌英(東京大学大学院工学系研究科 社会基盤専攻専攻)との合同
講演「デジタル・ツイン技術 社会基盤管理の活用」で、デジタル・ツイン・プラットフォーム、公共基盤管理
研究発表「見える・触れる・体験できる」にちなみ多岐な事例をもとに方法、を研究発表。「群像的なインフラを構築
するための建設生産・管理システム」をはじめ多くの事例をあげておられます。

◎堀田昌英の講演(1)基盤管理で地域価値を最大化は、都市の価値一歩多くなることを目指しています。



石田大館市長



建設業協会会長



岩館副官長



南地域JV



西地域JV



JV企業



短大生



市若手技師



ありがとうございました！



◎日時 令和7年11月26日(水) 13:30～16:00 **入場無料**

◎会場 秋田県立能力開発短期大学校 207 教室


※詳細情報、プログラムはこちらをご覧ください。

〒010-8601 秋田県 横手市 横手第一 1-1-1 メール de-jin@akadote.ac.jp 電話 0186-24-7079



- 群マネの手引きのオンライン解説会(そらふ)





作成者の同志に聞いてみた

1 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

「新マネの手引きVer.1」 P31

STEP2 実験方針の検討 「期待される効果」を整理しよう(効果の試算も含む)

Q2-7

Q 「導入効果はどのように試算する？」

A

- ・ 不確定要素が多く、大まかの概算となることに留意しつつ、付録編「導入効果試算ツール」を活用して、事業導入による直営対応時間の変化(アウトソーシング費による削減)や委託金額の変化を想定することで、直営+委託のトータルコストを比較できます。
- ・ なお、直営対応時間は、人件費単価を設定することで、両側換算が可能です。

用意するデータ

- ① 委託金額の変化想定
- 現状の委託金額
- 来年後の委託金額
- ② 直営対応時間の変化想定
- 現状の直営対応時間
- 来年後の直営対応時間

アウトプット

導入効果試算シート(●●町)

● トータルコストの算出

直営	直営+委託の トータルコストの削減
委託	削減 新たに必要となる経費
削減 効果による コスト削減	委託 (現状と対応時分)
現状	導入後

設定する項目

- 直営対応時間を両側換算するための人件費単価

次回以降の検討テーマ案

- 群マネの全国展開に向けて、「群マネの手引きVer.1」と連動して、「見える化」や「人の群マネ」の具体化を進めるとともに、「群マネの手引きVer.2」に向けて、既存事例の乏しいスキームの適用方法の具体化等の検討を進める。

【合同検討会のテーマ案】

- ◎ 群マネ推進の担い手との意見交換（自治体、業界団体、民間事業者等）
- ◎ モデル地域の成果報告
- ◎ 計画・実施両検討会の議論共有 →「群マネの手引きVer.2」に向けた検討

【計画検討会のテーマ案】

- ◎ 「全国自治体のインフラメンテナンス見える化」に向けた検討
- ◎ 「人の群マネ」の推進に向けた検討
- ◎ 広域連携による計画策定方法の検討（県と市町村が連携した橋梁の集約撤去計画の策定等 ※モデル地域:和歌山県）

【実施検討会のテーマ案】

- ◎ 道路分野等における広域連携スキームの適用方法の検討（地方自治法の一部事務組合、協議会等）
- ◎ 埋もれた制度の拡大方法の検討（フレームワーク方式等）
- ◎ 群マネ契約におけるインセンティブ設計方法の検討

※上記と連動させながら、モデル地域の検討状況の発表及び助言を実施。

令和5年度～

先行事例やモデル地域における試行等をもとに議論



令和7年10月14日

「群マネの手引き Ver.1」の公表



- 手引きVer.1を用いた普及活動(自治体説明会等)
- 既存事例が乏しいスキームを含めた更なる議論
- モデル地域の成果とりまとめ(中間報告、成果報告会)



「群マネの手引き Ver.2」の公表

群マネモデル地域の検討状況(R7.12.18時点)

[群マネモデル地域の対象分野・ポイント]

●: 広域連携(複数自治体)での検討 ○: 多分野連携(単独自治体)での検討

類型		自治体	道路	河川	公園	下水道	その他	モデル地域としてのポイント
広域連携	① 垂直連携	和歌山県 (他1市3町)	●	—	—	—	—	・県と1市3町の垂直連携(橋梁の集約再編計画を共同策定) ※県道と市町道のペアでの機能検討も ⇒R7年度 県と1市3町共同で計画策定予定
		広島県 (他2町)	●	—	—	—	—	・県と2町の垂直連携(県道・町道の日常維持管理) ⇒R8年度 具体的な業務発注に向けた調整を開始予定(対象エリアの確定等)
	② 水平連携	北海道幕別町 (他1町)	● ○	○	○	—	—	・2町の水平連携(橋梁の点検・設計・計画策定、除雪管理システムのデータ連携等) ・幕別町単体での多分野連携(道路+河川+公園の日常維持管理等) ⇒R8年度 協定締結や発注手続き等を予定(R9年度の実施に向けて) ⇒R9年度 窓口業務の広域連携も検討
		大阪府貝塚市 (他7市4町)	●	—	●	●	—	・12市町の水平連携(道路、公園、下水道それぞれの業務実施) ⇒R7年度 モデル事業を実装(道路:ドラレコを活用したAI道路点検(12市町)、公園:遊具点検(2市)、下水道:事業所排水規制業務(9市町)) ⇒R8年度以降 業務拡大も検討(道路附属物点検、遊具修繕等)
		兵庫県養父市 (他2市2町)	●	—	—	—	—	・水平連携(橋梁の一括管理:修繕設計・修繕工事) ⇒R8年度 業務発注予定(一部市町に限定した先行発注を想定)
		奈良県宇陀市 (他3村)	●	—	—	—	—	・1市3村の水平連携(橋梁の一括管理:点検・修繕設計・修繕工事)※CM方式の活用視野 ⇒R7年度 試行業務(橋梁点検(3市村))を発注 ※R8年度 点検・設計・工事(管理・支援)業務の共同発注(1市3村)
		島根県益田市 (他2町)	●	—	—	—	● (農林道)	・1市2町の水平連携(農林道含む橋梁・トンネルの一括管理:点検・修繕設計) ⇒R7年度 橋梁点検(1市2町)を発注 ※R8年度 設計業務も追加検討
③ 多分野連携		秋田県大館市	○	○	○	○	○ (農林道)	・多分野連携(道路(農林道含む)+河川+公園の日常維持管理) ⇒R7年度 大館西地域で業務開始 ⇒R8年度 下水道(雨水幹線、都市下水路の浚渫)も包括化(大館東地域で発注手続き中)
		滋賀県草津市	○	○	○	—	—	・多分野連携(道路+河川の日常維持管理) ※公園は長期的に検討、下水道は別途ウォーターPPPを検討中
		広島県三原市	○	○	○	—	—	・多分野連携(道路+河川+公園の日常維持管理) ⇒R8年度 業務発注予定(併せて、維持管理DXに向けてR7年度から発注手続き予定:住民からの要望受付から修繕指示までのプロセスを、一元管理するシステムを導入)
		山口県下関市	○	○	—	○	○ (臨港道路)	・多分野連携(道路(跨線橋含む)+河川の日常維持管理) ※将来的に臨港道路や下水道の包括化も検討

【モデル地域の検討状況に対する助言等】

⇒モデル地域の取組を後押しするために、モデル地域の検討状況や相談事項等に対してご助言を頂きたい。

【モデル地域の検討状況に対する質問等】

⇒手引きVer.2へモデル地域の成果を掲載していくに当たって、モデル地域の検討状況等へご質問やご意見を頂きたい。